

花芽分化期の高温条件とトルコギキョウの生育開花反応

福島県農業試験場いわき支場・平成10年度春夏作試験成績概要

1 部門名 花き—トルコギキョウ—生理・生態 05—19—04000000

2 要 旨

トルコギキョウの9月出し栽培において、生産現場で問題となっている早期開花と切り花品質の低下の原因を明らかにするため、頂花の花芽分化期の高温遭遇(25～27℃、2週間)が切り花時期と切り花品質に及ぼす影響について検討した。

(1)「あすかの粧」では、無処理(最低夜温18～23℃)と比べて切り花盛期が7～9日早まり、切り花長が約10cm短く、切り花重も減少して、品質が低下した。「ブライダルピンク」では、切り花盛期が5～7日早まり、切り花長は同程度であったが、切り花重の減少がみられた。

(2)頂花の花芽分化期の高温により、開花は早まり、切り花品質は低下することが確認されたが、切り花品質低下の現れ方は品種によって差がみられた。